

東京マックス美容専門学校

自己評価

(令和4年度)

2023年3月27日

評価項目の達成及び取組状況

基準1 教育理念・目的・育成人材等

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
理念・目的・育成人材像は定められているか	4
学校の特色は何か	4
学校の将来構想を抱いているか	4

・本校は「優れた技術を持ち・環境にやさしく・人に優しい美容師の誕生を目指します。」を教育理念として学校教育を運営してきている。

・多様になってきた美容業界の各分野において卒業生が対応できるように、メイクやネイル、まつ毛エクステ、パーソナルカラーなどの資格取得にも力を入れ卒業生が活躍できる力を養われている。

・今後のさらなる生活環境の多様化に伴い、老若男女を問わず「美しくありたい、心豊かに生きたい」と言う方々に応えられるために、ヘアのみならず、メイクやネイルなど幅広い美容分野で活躍できる人材を育成していく。

基準2 学校運営

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
運営方針はまとめられているか	4
事業計画は定められているか	4
運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか	2
人事や賃金での処遇に関する制度は確立されているか	4
意思決定システムは確立されているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	2

・学校の運営方針は定められており、各種規定は状況により検討を行い決定されている。

・各授業科目については、各授業を担当する教員と毎年度、設定・講義内容について検討・検証し作成を行い、理事により承認されることで正式決定される。

・理事会・評議員会は当法人の規定により定められ、定期的に会議を開催し有機的に連携し機能している。

・ガバナンスの確立が曖昧な部分があり、運営において効率の悪い部分が見受けられ、改善が必要と思われる。

・情報を集中化しペーパーレスが進み、省資源化と業務連絡の一本化効率化が進められてきているが、情報の共有化において不足する事案があった。さらに効率の良いシステムを

構築するために試行錯誤が継続されている。

基準 3 教育活動

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
各学科の教育目標、育成人材等は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	3
修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか	4
カリキュラムは体系的に編成されているか	3
学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされているか	4
キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施されているか	3
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格取得の指導体制はあるか	4

・教育目標を教員全員が理解し、意識統一がされている。まず美容師国家試験の合格を前提として、卒業後全員が就職することを目指す。そのため、学生一人ひとりの評価を基準に個々がレベルアップするための支援を行っている。

・過去の実績と、現状そして業界での現状を考慮に入れ、各技術・知識の習得に必要な科目・時間の計画を立てている。コロナ過での対面授業ができない状況でのオンライン授業やサポート授業などの経験を活かし、これまでの授業体制に幅をもたせ新たな学生への授業サポート体制を形成することができた。

・コロナウイルス蔓延防止策の緩和により、感染対策のうえで修学旅行や発表会などの行事が実施でき、学生の活動が活発になった。

・現場の業務を知るために美容サロンの協力を得てインターンシップを実施している。実際のサロンに入って体験することにより、美容の業をより理解しサロンを知ることにより就職活動に結びついている。またサロンでの活動はサロンのスタッフにより評価され学校にフィードバックされている。

・GPA 評価等で明確な評価を出し、個々の評価を行っている。

・国家資格に限らず、美容業界で活躍の幅を広げるためメイクやネイル、色彩などの検定取得のための講習を実施している。

基準4 学修成果

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
就職率（卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率）の向上が図られているか	4
資格取得率の向上が図られているか	4
退学者の低減が図られているか	2
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3

・就職は本校の教育目標の1つであり、例年就職のためのマナー講座や就職活動の指導、就職ガイダンスやインターンシップ、個別指導など就職率向上のための活動を実施している。就職先の選定にあたり後援をいただいている美容サロンとの連携により就職先が確保できている。

・国家資格の合格を目標として、授業の計画を立て実施している。実技・学科の成績を評価し、不足している学生については特別授業を組むなど底上げの工夫を行っている。前年度に引き続き、国家試験の合格率100%を達成した。

・退学者については、定期的に個別面談や、場合により3者面談を実施するなど学習意欲の向上、維持、メンタルケアなどを行っているが前年度比較で退学者数は微増となった。今年度は学費未納での退学者は出なかったが、奨学金希望者は増えており、入学金補助などのサポートなどの支援の継続が続けられている。

・卒業生の動向については、来校しての情報提供や業界紙などによる情報、などから業界での活躍がつかえられている。

基準5 学生支援

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
就職に関する体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制は整備されているか	3
課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	3
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	3

・クラス担任と教務と連携し就職活動の支援を行っている。就職、そしてその後の目標を意識させ学校生活から自己を見つめなおさせている。コロナ過ではあるが、後援していただいている美容サロンと連携して就職活動を支援している。

- ・まず、クラス担任が接する機会が多いことから、相談の窓口となっている。個々の問題により教務やカウンセラー資格保持者が適時対応に当たり問題の解決に努めている。
- ・個別に奨学金などは用意していないが、入学者全員に補助が行き渡るように援助をしている。昨年度に引き続き一人暮らしのためのサポートや交通費などの援助をしている。
- ・1年に1回定期検診を実施しており、異常が確認された学生においては個別に対応、再検査など促している。また、入口に設置したサーモグラフィーによる体温検査や手指消毒、全員マスクを着用させる、1教室の人数を定員半分の学生数で授業をするなどコロナウイルス感染対策などの健康管理にも気を配っている。
- ・希望者には提携の学生寮を紹介している。また、前年度に引き続き一人暮らしの学生への補助金サポートの実施をすすめている。
- ・保護者とは学生の出席状況等緊密に連絡を取り、状況により3者面談を行い学生の意識向上などサポートしている。
- ・卒業生は再就職先の紹介などサポートを行っている。

基準6 教育環境

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
施設・設備は、教育上の必要に十分対応できるよう整備されているか	3
学外学習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3
防災に対する体制は整備されているか	3

- ・学校の施設・整備は十全とは言えないが、設置基準は十分満たしている。施設の老朽化もあるが、施設、設備の補修、メンテナンスにより学生が落ち着いて学校生活を送れるように環境を整えている。
- ・シャンプー室や実習室など現在のサロン現場に近い環境を作る事により学生の学ぶ環境を充実させることができている。
- ・校外での実習活動としてサロンでのインターンシップを実施し、美容業という現場への理解を深めることができた。インターンシップに行ったサロンからは、各学生の評価をしてもらい、学生にフィードバックすることにより自己を再評価し、就職への意識付けに活かしている。
- ・研修旅行やヘアショーなどコロナウイルス蔓延防止に注意をはらいながら実施ができた。
- ・防災は防災マニュアルをもとに、年1~2回避難訓練を実施している。また、非常時にそなえ全学生が3日程度学校で避難できるように、食料の備蓄も行っている。

基準7 学生の募集と受け入れ

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
学生募集は、適正に行われているか	3
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3
入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

- ・学生募集は専属の担当者を置き、募集広告などは誇大な表現を避けている。公開している情報は真実を明瞭に公表し、希望者が誤解を受けないように配慮しながら行っている。
- ・入学者数は35%程度低下した。募集要員が不足したためと分析をしており本年度は人員配置を強化し募集活動をした結果、2023年度生は2022年度を上回る新入生が確保を見込んでいる。
- ・オープンキャンパス、学校説明会に参加又は実施しているが、前年度に比べ参加率が良くなった。対面で説明する機会が増えたことにより学校の特徴を丁寧に説明することができた。
- ・オープンキャンパス、学校説明会に参加できない希望者のために、zoomなどのアプリを使用しオンラインでの学校説明を実施しているが、コロナウィルス対応が緩和されるにあたり、対面での説明が増えてきた。
- ・入学選考は適正かつ公平に行われている。
- ・学納金は妥当なものとなっており、適切に扱われている。

基準8 財務

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制準備はできているか	4

- ・税理士事務所から指導を受けながら改善に努めており、当学園並びに本校の財務状況は安定している。
- ・理事会および評議員会とは別途に定例会を開催し、月次においての収支を確認しつつバランスシートの健全性を確認している。この定例会には理事2名、監事1名、評議員1名及び事務局長が参加し、運営状況に疑義がある場合には会計士からアドバイスを仰ぐこともある。

基準 9 法令等の遵守

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか	4
自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3
自己点検・自己評価結果を公開しているか	4

- ・法令、設置基準は遵守され、適正な運営がなされている。
- ・個人情報の扱いに関する基準に基づき運用されている。学校が保持する個人情報は目的以外には一切使用しない。
- ・自己点検としては一部の職員だけが理解しているが、各問題点などは職員会議で問題定義され共有するようにしている。
- ・自己点検・自己評価結果は本校ホームページ上にて公開している。

基準 10 社会貢献

適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1

評価項目	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	4
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	2

- ・本校は環境問題について関心を持っており美容学校としては全国で初めて ISO14001 を取得した。廃棄物や省資源はもとより、学生への環境教育も実施し環境問題への関心を習慣付けるようにしている。
- ・ボランティアは毎年4回程度老人ホーム等への慰問など実施しているが、今年度もコロナウィルス感染防止のため、老人ホームよりキャンセルの申し出があり実施することができなかった。先方より継続の意向は伺っているので、再開ができるように体制は整えてある。
- ・昨年度より地元地域で開催されるハロウィンイベントに参加をするようになり、地域交流をする機会が増えた。学校施設を使用し一般の方との交流が主となるため、楽しみと、コロナウィルス感染予防を意識しながらの開催となったが、好評であった。

令和4年度 学校関係者評価報告書

東京マックス美容専門学校 学校関係者評価委員会

2023年3月27日(月) 13時00分～14時00分

評価委員

ヴァスコダガマ法律事務所 大川原紀之

クレアツール内野 内野 邦彦

ClubCut IDE 井出 俊治

税理士法人東京合同 山田 和江

学内関係者

学校長 長谷川 隆

教務課 杉谷 聡雄

事務局 村岡 克朗

学科講師 乙川 博士

” 藤原 博士

●教育理念・目的・育成人材等について

美容界の多彩なニーズに応えるため課内授業の充足に併行し、特別ゼミ、研修制度、2年次からのコース特化などの活動が見られる。

新たに教員助手として人材を雇用や、職員の教員講習に参加など人材育成が考えられている。

●学園運営について

運営方針により事業計画はしっかりとされている。

ガバナンスにおいて、非効率な個所が指摘されているが円滑かつスムーズな運営ができるよう早い段階での改善が必要である。

教職員間での情報の共有の不備は業務にも支障がでる可能性がある。問題点の改善をして、より有効に機能するようにすすめてほしい。

コロナウイルス対応も次年度では5類に分類されるようだが、その時の対応も準備をしておいてほしい。

●教育活動について

コロナ過でのカリキュラム調整の経験が活かされ、効率的な授業が実施されている。

修学旅行などの行事も再開できたことは喜ばしいことであり、また行事が学生の成長に良い影響を及ぼすのを期待したい。

現場実習では経験プラス、就職に繋がっていることはとても良い。学生の未来を担保するためにも現場となるサロンとも良好な関係を続けてほしい。

●学修成果について

就職ガイダンス、体験実習を通じ、サロンとの繋がりを継続し学生の就職先をしっかりと確保されている。

美容師になるためには国家試験は必須となるのが、国家試験の合格率 100%というのは非常に評価できる。授業内容も工夫をしているようなのでこのまま継続して欲しい。

近年学生も多様化していると思うが、学生としっかりコミュニケーションをとり、退学数減少を目指してほしい。

●学生支援について

教務やカウンセラー資格保持者などで、学生のサポートはしっかりされている。学習にまつわる相談以外にも経済的な問題など多岐にわたるだろうが、学生が学ぶ機会をなくしてしまわない様可能なサポートを続けてほしい。

コロナ過による経済的影響を受けた学生の対応もされている。

●教育環境について

サロン現場に近いシャンプー教室など就職先に沿った練習をすることができる環境が提供されているなど、これからの就職状況を踏まえた環境作りがされているので、これからも学生の人材育成に十分活かしてほしい。

校外研修など、今後のコロナウィルス蔓延状況を見極め柔軟に対応に、実施する場合は感染防止に万全を期して実施してほしい。

現場でのインターンシップなど実践教育も実施し業界へ卒業生を送り出せている。

●学生の募集と受け入れについて

募集活動の人員確保含め人員配置など業務の効率化と今後の対策を検討してほしい。

2023年度に向けては順調という事だが、油断せず対応してほしい。

募集方法など常に情報収集をして有効な方法があれば取り入れ、より効果的な募集ができるようにしてほしい。

●財務について

特に意見はなし。

●法令等の遵守について

特に意見はなし。

●社会貢献について

老人ホームのボランティア実施できなかつた中、ハロウィンイベントは地域交流と、学生にとっても就職後の接客対応の練習としても有効に思える。実践経験は学生にとっても貴重なものであるため、可能な限り継続してほしい。

●総括

令和4年度の自己評価結果の報告を受け学校関係者として評価を行った。学校理念のもとに教育活動、学生支援、募集活動、環境整備、社会貢献など活発にかつ適正に活動されていることが確認できた。また財務についても適正に行われており問題はなすが学校運営についてはガバナンスの徹底など一部検討個所がある。これらの内容からおおむね適切な評価と総括するが、今後も学生が質の高い教育を受けられるよう、引き続き学校運営の改善に努めてほしい。

以上